

全国公開研究会

特別支援学校における 専門性を深める実践の歩み

学び続ける教員の挑戦

令和8年2月6日(金) 9:30~16:40

令和7年度の全国公開研究会も、参集型とWeb配信を組み合わせたハイフレックス式で実施いたします。午前中は、全校の授業と実践発表に参加される皆様へ公開いたします。午後からは、Web配信を同時に行い、より多くの方々へ本学園の授業実践を発信します。皆様の御参加をお待ちしております。



東京都立光明学園

令和7年度 東京都立光明学園 全国公開研究会

根拠のある授業づくりを目指して

平素より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、東京都立光明学園では、全国の関係者、研究者、学校教職員、保護者の皆様を対象に、全国公開研究会を開催いたします。本研究会は、特別支援教育における実践的かつ先進的な取り組みや成果を広く共有し、教育の質的向上とネットワークの強化を図ることを目的としております。

今年度のテーマは「根拠のある授業づくり」とし、教育活動の根底に科学的・実証的なアプローチを据え、児童・生徒一人ひとりの多様なニーズに応じた教育実践の在り方を問うものです。現場での実践経験と理論的知見を結びつけ、より効果的な授業設計と指導法の開発を目指すべく、多角的なプログラムを企画いたしました。

午前部

授業公開とビデオ分析報告

午前中には、肢体不自由教育部門および病弱教育部門における全授業を公開いたします。参加者の皆様は、自由に各教室をまわり、授業を御見学いただけます。各授業では、子どもたちの主体的な学びや、個別の教育的ニーズへの対応、ICTの活用など、本校ならではの多様な工夫を御覧ください。

また、児童・生徒の学びの実態を多面的に把握する手法として、「ビデオ分析」による取り組み報告を行います。これは、授業中の子どもたちの行動や反応を映像で記録・分析し、教育的支援の新たな考察を得るものです。本研究会では、東京大学先端科学技術研究センター 中邑賢龍、シニアリサーチフェロー 赤松裕美、特任助教・早稲田大学 巖淵 守教授をお招きし、専門家によるコメントおよび講義を通じて、分析結果と今後の課題について議論を深めます。



中邑 賢龍 先生



赤松 裕美 先生



巖淵 守 先生

午後部

ポスター発表・ディスカッション・特別講演

午後は、本校教員及び寄宿舍指導員による約90本のポスター発表(3部制)を実施いたします。各発表では、授業改善、教材開発、ICT活用等、日々の取り組みや成果を具体的なデータや実践例を交えてご紹介いたします。来校者の皆様と発表者によるディスカッションの時間も設けており、現場の課題や今後の展望について活発な意見交換が期待されます。

最後は、文部科学省 菅野視学官による特別講演を予定しております。講演では、現行学習指導要領がもたらした成果や現状の課題、今後の改訂に向けた提言など、分かりやすくお話しいただく予定です。

多くの皆様の御参加を心よりお待ちしております。

【講演者紹介】

文部科学省初等中等教育局 視学官（併）特別支援教育課特別支援教育調査官 菅野 和彦 氏



学習指導要領改訂と 根拠に基づく 授業づくりを見据えて

現在、次期学習指導要領の改訂を視野に入れた中央教育審議会が進められており、その方向性や内容に多くの教育関係者が注目しています。菅野視学官におかれましては、長年にわたり日本の教育行政に携わり、特に学習指導要領の策定や改訂において中心的な役割を果たしていらっしゃいます。

今回の公開授業研究会では、光明学園が掲げる「根拠に基づく授業づくり」というテーマや、「学び続ける教員の育成」の学校経営計画のもと、これまでの学習指導要領の歩みを振り返りつつ、今後求められる授業改善の方向性について、菅野視学官ならではの視点からお話しいただきます。近年、教育現場ではエビデンスに基づいた授業改善やカリキュラム・マネジメントの重要性が一層高まっており、学習者一人ひとりの資質・能力を育成するための具体的なアプローチが求められています。

菅野視学官のご講演では、現行学習指導要領の成果と課題を明確にしつつ、児童生徒の学びの質を高めていく根拠に基づいた授業づくりについて、最新の動向や実践例を交えながら示唆に富むご提言をいただきます。

当日時程

9:00	9:30	9:50	10:50	11:00	12:15	13:15	14:15	14:30	16:30	16:40
受付	開会	授業公開	[実践発表] 自立主 ビデオ分析を用いた実態把握		昼食	[ポスター発表] ・病弱 ・肢体不自由 ・寄宿舍 ※	記念講演 文部科学省 菅野視学官		閉会	
			[講演] 中邑 賢龍 氏 赤松 裕美 氏 巖淵 守 氏				Web 配信			

※ ポスター発表は、肢体不自由教育部門45本程度、病弱教育部門30本程度、寄宿舍10本程度となる予定です。

令和7年度

研究会の 見どころ

13時15分より
Webでの配信を行います

実践発表

【自立活動を主とした教育課程】

ビデオ分析で深める実態把握 ～ 客観的な根拠に基づいた指導 ～

【助言講師】

東京大学先端科学技術研究センター 中邑 賢龍 氏・赤松 裕美 氏
早稲田大学人間科学学術院 人間科学部 巖淵 守 氏

参加対象：学校関係・福祉関係ほか、関心がある方ならどなたでも参加できます

申し込み方法は、12月中旬頃に本校ホームページにてお知らせします

問合せ：東京都立光明学園（担当 副校長：江見 研究研修ライン：まつい） 電話：03-3323-8421
〒156-0043 東京都世田谷区松原6-38-2（小田急線梅ヶ丘駅徒歩3分・京王井の頭線東松原駅徒歩7分）
※都立光明学園は肢体不自由教育部門、病弱教育部門（そよ風分教室含む）を併置する特別支援学校です
（本校ホームページ <https://komeigakuen-sh.metro.ed.jp/site/zen/>）

